

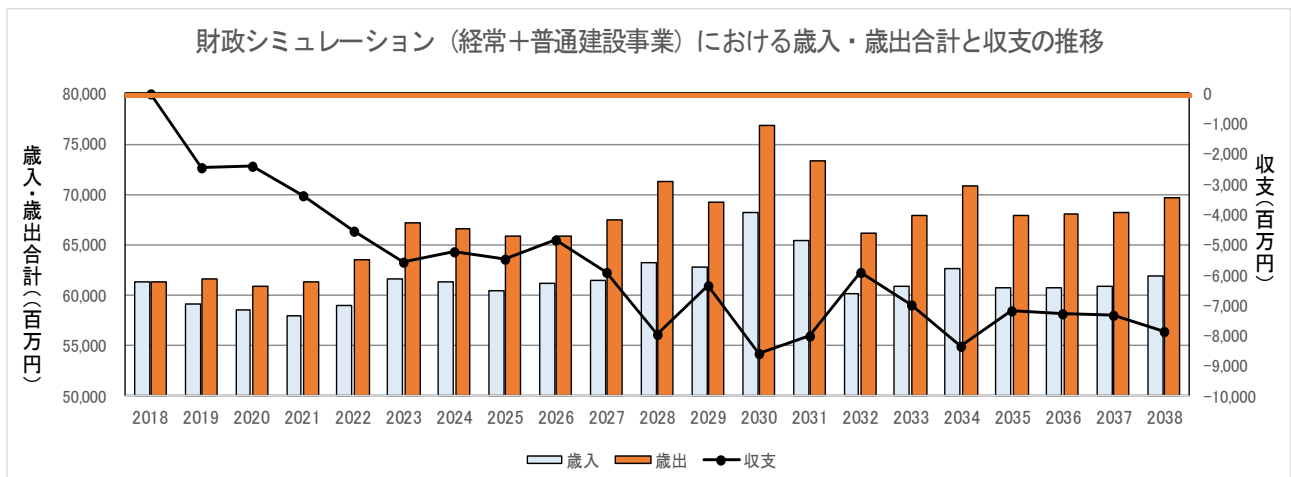
財政シミュレーション【Ver.2】の状況

- ◎ 今回の財政シミュレーションは、習志野市公共施設等総合管理計画に基づく公共建築物、及びインフラ・プラント系施設に関する個別施設計画の検討にあたっての基礎資料として作成したものです。
- ◎ 財政シミュレーションは、2018（平成30）年度当初予算をベースとして実施し、歳入は予算科目、歳出は性質別に積算、シミュレーション期間は、2018年度から2038年度までの21年間です。

歳入・歳出合計と収支の状況

（1）「経常＋普通建設事業分（参考資料4-2）」における歳入・歳出合計と収支の推移

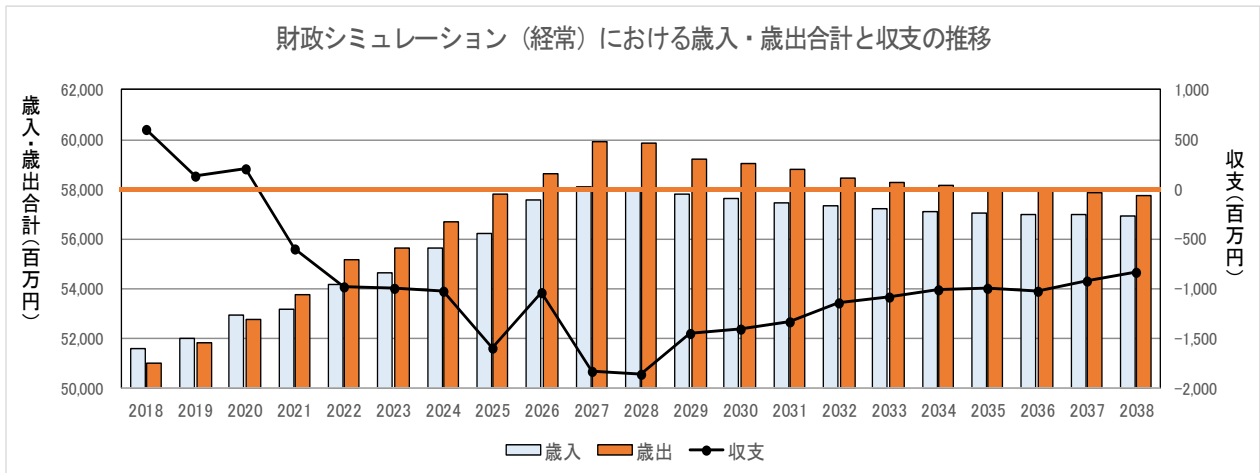
- ◆ 普通建設事業費を含む歳出総額は、約1兆4千106億円、1年平均で約672億円です。
- ◆ 歳入総額は、約1兆2千889億円、1年平均で約614億円です。
- ◆ この結果、シミュレーション期間において、約1千217億円、1年平均で約58億円の収支不均衡が見込まれます。



- ① 歳入・歳出ともに、最も多いのは2030年度です。これは、芝園清掃工場の更新事業費がピークを迎えることによります。
- ② 収支は、2019年度以降一貫して赤字が続き、2028年度以降は、70億円から80億円の収支不均衡が常態化します。

（2）「経常分（参考資料4-3）」における歳入・歳出合計と収支の推移

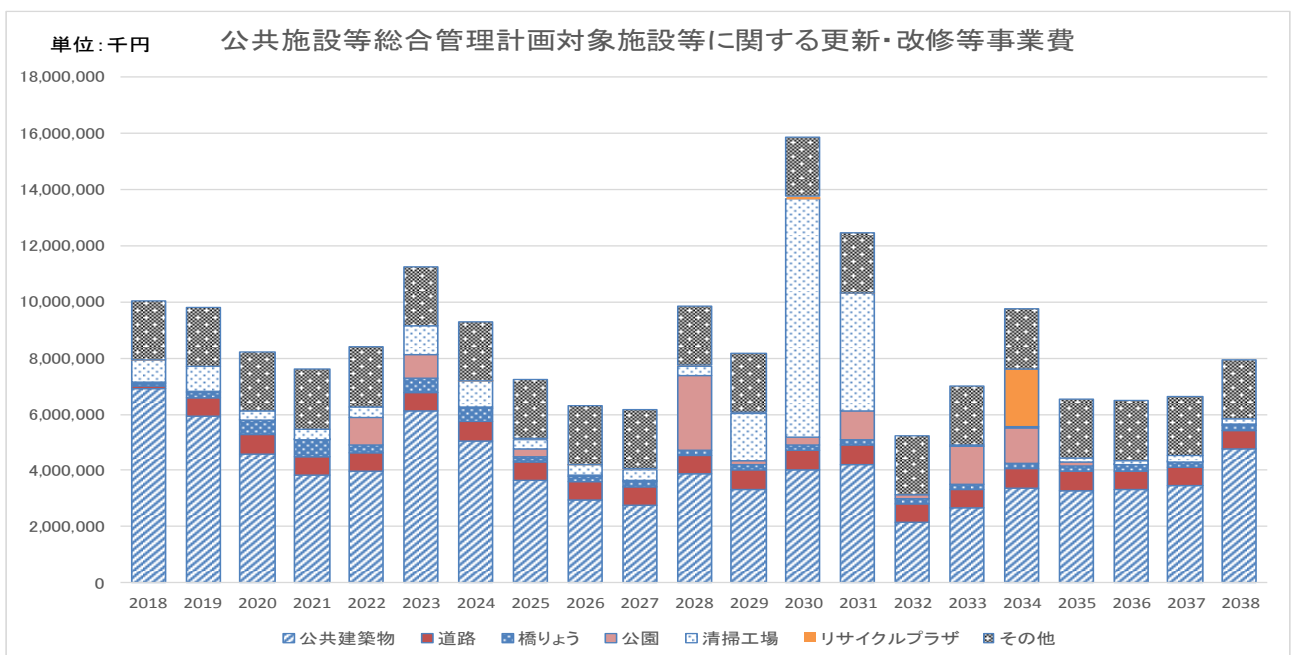
- ◆ 普通建設事業費を除く経常分の歳出総額は、約1兆1千967億円、1年平均で約570億円です。
- ◆ 歳入総額は、約1兆1千765億円、1年平均で約560億円です。
- ◆ この結果、シミュレーション期間において、約202億円、1年平均で約9.6億円の収支不均衡が見込まれます。



- ① 普通建設事業費を除く歳入・歳出では、2027年度にピークを迎え、その後、歳入・歳出ともに、徐々に減少していく傾向となっています。
- ② 収支は、2021年度以降は毎年度赤字であり、2027・2028年度の約18億円の赤字がピークとなり、その後、徐々に赤字幅が縮小し、2038年度は約8億円の収支不均衡です。

「経常+普通建設事業分（参考資料4-2）」における普通建設事業費の状況

普通建設事業費は期間内に総額 約1,805億円、1年平均で約86億円



- ① 普通建設事業費のうちで、大きな割合を占めるのが公共建築物で、1年平均約40億円が必要です。
- ② 2029年度から2031年度にかけては、芝園清掃工場の更新（約125億円）が予定されることから、大きな割合を占めています。
- ③ 公園については、事業費にバラツキがあります。
- ④ 2034年度にはリサイクルプラザの更新が予定されています。

財政シミュレーション Ver.2とVer.1における「経常＋普通建設事業分(参考資料4-2)」の金額の差異

【歳入】

(単位:百万円)

科目(款)	2018~2038 Ver.2	2018~2038 Ver.1	Ver.2 - Ver.1	増減理由
市税	578,931	572,122	6,809	
分担金及び負担金 使用料及び手数料	53,885	51,906	1,979	
◎ 繰入金	42,807	42,248	559	平成30年度予算実績を踏まえ見直し
諸収入	43,239	41,889	1,350	
財産収入 寄付金・繰越金	11,747	11,671	76	
自主財源	730,609	719,836	10,773	
譲与税・交付金	90,135	73,432	16,703	平成30年度予算実績を踏まえ見直し
地方交付税	23,335	35,771	▲ 12,436	市税・譲与税等の増加に伴い減少
◎ 国・県支出金	333,361	291,735	41,626	扶助費の増加に伴い増加
◎ 市債 (臨時財政対策債・借換債)	111,482	120,529	▲ 9,047	交付税の減少に伴い臨財債が減少
依存財源	558,313	521,467	36,846	
歳入合計 ①	1,288,922	1,241,303	47,619	

【歳出】

区分(性質)	2018~2038 小計	2018~2027 小計	Ver.2 - Ver.1	増減理由
人件費	270,427	268,075	2,352	平成30年度予算実績を踏まえ見直し
扶助費	420,188	364,259	55,929	実態に合わせ伸び率を見直し
公債費	109,728	108,502	1,226	起債額に合わせ見直し
義務的経費	800,343	740,836	59,507	
物件費	238,501	242,609	▲ 4,108	努力目標
補助費等	35,718	36,643	▲ 925	
繰出金	125,191	137,260	▲ 12,069	平成30年度予算実績を踏まえ見直し
維持補修費・積立金 投資及び出資金 貸付金・予備費	30,284	31,458	▲ 1,174	
経常的経費	429,694	447,970	▲ 18,276	
◎ 普通建設事業	180,541	185,212	▲ 4,671	経常的な事業費を見直し
歳出合計 ②	1,410,578	1,374,018	36,560	
財源不足額 ③ ③=①-②	▲ 121,656	▲ 132,715	11,059	